

2026年度 実践を基にした 多文化ソーシャルワーク研修

神奈川県は、在日コリアン、華僑・華人、日系人に加え、技能実習等で活躍する若い外国人が増えており、保育園・幼稚園、義務教育課程は「多様性」にあふれています。本研修は実践経験のある多彩な講師陣と参加型の演習を兼ね備えています。この研修を通して「外国人支援」に必要な制度や社会資源等、「多文化共生」の視点や実践について学びませんか。



かながわ外国人すまいサポートセンター理事長
裴安氏 他が講師

日時：1日目 2026年**11月7日(土)** 10:00～17:55

2日目 2026年**11月8日(日)** 9:30～15:40(解散16:00)

会場：ウィリング横浜 会議室（京急 上大岡下車）

開催方法：対面研修（1日ずつの参加及び代理での参加はできません）

対象：社会福祉士（会員・非会員を問いません）

外国人相談支援に関心のある方等

定員：先着50名

参加費：11,000円（一度入金された参加費は、返金いたしません）

※ 研修内容は裏面「研修内容」をご覧ください（懇親会予定してます）。

※お申し込みはホームページ <http://www.kacsw.or.jp/> かQRコードよりお申し込みください。

※ 認定社会福祉士研修単位

この研修は、認定社会福祉士認証研修です。2日間すべてのプログラムに出席し、事後課題の評価が「可」になれば、研修単位を取得できます。

①研修認証番号:20170023／研修単位:1単位

②科目／区分:分野専門・地域・多文化分野／群:対象者別科目／科目名:対象者別科目

③日本社会福祉士会生涯研修制度の単位は、専門課程1単位となります

主催：公益社団法人神奈川県社会福祉士会多文化ソーシャルワーク委員会



研修目的とねらい

複雑な生活課題を抱えながら、地域で暮らす外国人の方々に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援ができるのでしょうか。本研修では多文化共生をキーワードに、外国人支援ソーシャルワークの視点とあり方を学び、外国人の生活課題を理解し、潜在的ニーズを把握し、支援計画を立てるソーシャルワーク実践力を身につけることを目指します。当研修の講師陣は、外国人当事者を含む外国人支援の実践者です。

申し込み・お問合せ先

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局

〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17-2 神奈川県社会福祉センター4階

TEL 045-317-2045 FAX 045-317-2046 受付時間 平日月～金曜日9～17時

ホームページ <http://www.kacsw.or.jp/> E-mail info@kacsw.or.jp

研修内容 2026 年

	科目名	形式	内容
1 目	10:00～10:10	オリエンテーション(10 分)	
	10:10～11:40 (90分)	科目1 「外国人の視点から多文化ソーシャルワーク実践を考える」 講師: 裴 安 (ペイアン) (かながわ外国人 すまいサポートセンター理事長)	外国人が考える多文化共生社会づくりの課題と実践、社会福祉士が必要とする知識・価値・技術等の概略等。
	11:40～11:45	休憩(5 分)	
	11:45～12:45 (60分)	科目2 「外国人の在留資格等の基礎知識」 講師: 今村 正典(特定行政書士)	日本に在留する外国人の状況、出入国管理と難民認定法の概念、法的枠組みとしての在留資格とソーシャルワーク実践等。
	12:45～13:45	昼食(60 分)	
	13:45～15:15 (90分)	科目3 「多文化共生社会の実現－実践から学ぶ－」 講師: 鳥井一平(移住連共同代表理事)	移住連の活動を通して見えてきた、多文化共生の理念と原則、ソーシャルワーカーの取り組み等。
	15:15～15:20	休憩(5 分)	
	15:20～16:50 (90分)	科目4 「外国人に適用される社会保障、福祉サービスの現状」 講師: 諸井 一郎(川崎市職員)	外国人の福祉問題に関連する社会保障制度、社会福祉サービスの理解と、活用の際の配慮について学ぶ。
	16:50～16:55	休憩(5分)	
	16:55～17:55 (60分)	科目5 「外国人への医療通訳サービスの課題－MIC かながわの実践から－」 講師: 井出みはる (国際親善総合病院ワーカー)	外国人への医療・通訳サービスの活用、実践場面における配慮点や課題について、外国人通訳の実演も加え、学ぶ。
2 目		計390分	(懇親会予定してます)
	9:30～12:00 (150分)	科目6 事例研究(グループワーク) コーディネーター: 野田 有紀 (神奈川県立保健福祉大学専任講師) 蔵本 孝治 (東京都介護福祉士会副会長)	児童、婦人保護、高齢者、精神保健など複合的な分野の多文化ソーシャルワーク事例をグループでディスカッションする。
	12:00～13:00	昼食(60 分)	
	13:00～14:30 (90分)	科目7 「外国人介護人材との協働」(先駆的ソーシャルワークの実践) 講師: 井口 健一郎、外国人介護士 (特別養護老人ホーム潤生園 施設長)	外国人介護士を職場に迎える際の留意点と先駆的なソーシャルワーカーの役割について、外国人介護士を招いて学ぶ。
	14:30～14:40	休憩(10 分)	
	14:40～15:40 (60分)	科目8 「多文化共生社会を目指すコミュニティーづくり－社会福祉士としての取り組み－」 講師: 木村 有孝 (神奈川県社会福祉士会多文化ソーシャルワーク委員会副委員長)	外国人の異なる文化的価値観の理解と多文化共生のためのコミュニティーづくりの理解、エスニックコミュニティと地域社会の受入等についてマクロの視点で学ぶ。
		計 300 分	